



株DAN 総合設計 海外研修旅行
2013 NewYork



◆スケジュール表 ※都合により変更になる可能性があります

日 付	時 間	場 所	行 動	備 考
5/22 (水) 1日目	11:10	大船駅発	成田エクスプレス (NEX23号)	8名
	11:17	戸塚駅発		宮原所長 繁田主任合流
	11:29	横浜駅発		竹内副所長 岸田主任 櫻井副主任 合流
	12:58	成田空港着	成田空港駅着	空港にて昼食
	13:10		第1ターミナルビル北ウィング4階 (デルタ航空チェックインカウンター) アシスタント合流(ジャックラビット担 当者予定) ※両替予定	
	15:15	成田発	デルタ航空172便	機内食
	15:10	ニューヨーク着	ジョンFケネディー国際空港着	機内食 入国手続き
		専用車 ホテル	アシスタントと合流し専用車にてホテ ル「ホリデイ・イン・ミッドタウン 57 番街」へ	
	17:30 (予定)		ホテル着 (まず部屋チェック:照明・水道・お湯・ トイレ排水・空調等)	部屋番号確認
	19:30	ロビー集合	徒歩で移動(約1.5km 途中タイムズ スクエアを経由)	
	20:00		ブラジル料理『イパネマ』にてウェルカ ムディナー ※ホテルロビーにて連絡事項確認後解 散	全員で夕食

日 付	時 間	場 所	行 動	備 考
5/23 (木) 2 日目	各自	ホテル	各自で朝食 ※寝坊注意。連絡とり合って行 きましょう	朝食ホテル 6:30～
	07:30	ロビー集合	「あっとニューヨーク半日観光」ツアー	
	07:50	バス到着	ツアー（ホテルからスタート） ※P1 2 参照 タイムズスクエアー ミートパッキングエリア（下車） グリニッジビルレッジ ソーホー リトルイタリー 中華街 グランドゼロ （下車） ウォール街 （下車） バッテリーパーク 自由の女神を眺める（フェリー船上） スタッテン島 ブルックリン区 ブルックリンブリッジ （下車） サウスストリートシーポート 国連本部 （下車）	
	12:00	解散	5 番街ティファニー付近にてツアー終了	
	午後		A プラン：案内担当 繁田 (副所長・櫻井) アップル5 番街・レバーハウス・ロック フェラーセンター B プラン：案内担当 小柳 (会長・所長・石川・ 岸田・菱田・本田・追久保) ハイライン	各自で昼食
	19:50		Ambassador Theatre にて待ち合わせ ※参加者のみ(9 名・夕食無) 地図 P1 4 参照 (会長夫妻/本田夫妻/菱田/岸田/繁田/櫻井/追久保) オーケストラ席 105～113(隣同士席確保 \$ 1 1 5)	各自で夕食
	20:00		ブロードウェイミュージカル 「シカゴ」鑑賞 案内担当 繁田	
	22:30 予定	ホテル	点呼のため必ず幹事まで連絡をしてください	

日 付	時 間	場 所	行 動	備 考
5/24 (金) 3日目	各自	ホテル	各自で朝食	朝食 ホテル 6:30～
	9:00	ロビー集合	移動(「7Av」 路線 E→「Lexington Av」 で路線 4・5・6 に乗換→「86St」)	
	10:00	オープン	グッゲンハイム美術館	
	11:00	集合	MoMA へ移動 (路線 1～4 でバス移動予定)	
	11:20 (予定)		MoMA	
	午後		A プラン：案内担当 小柳(所長・副所長・石川・櫻井・本田・追久保 エンパイアステートビル・フラ ットアイアンビル・パンナム ビル・グランドセントラル B プラン：案内担当 繁田(菱田・岸田 フォードファンデーションビ ル・クライスラービル・国連本部 ビル(半日観光より詳しく)	各自で昼食
	17:30	ロビー集合	徒歩にて移動	
	18:00		「EMPIRE STEAK HOUSE」 に てディナー ドレスコード： 男性 ジャケット・革靴・スラックス (ジーンズ不可) 女性 男性に準じた服装	全員で夕食
			※歓談予定	

日 付	時 間	場 所	行 動	備 考
5/25 (土) 4 日目	各自 09:00	ホテル ロビー集合	各自で朝食 A プラン 案内担当：竹内 (会長・小柳・追久保 セントラルパーク・ダコタ・アパート・リンカーンセンター等 B プラン 案内担当：岸田 (所長・菱田・繁田・櫻井 ニューミュージアム・ウォール街・グラウンドゼロ(半日観光より詳しく)等 C プラン 案内担当：石川 (会長) ブルックリン地区・ブルックリン植物園・ショッピング等	朝食 ホテル 6:30～
	19:15 プレイ ボール		・メジャーリーグ観戦 石川・櫻井・繁田	各自で昼食
	19:50	ブルーノート	現地「ブルー・ノート」で待ち合わせ ※参加者のみ(8名夕食無) 地図 P1 4 参照 (会長夫妻/本田夫妻/宮原/竹内/小柳/追久保)	各自で夕食
	20:00		名門ジャズ・クラブ「ブルー・ノート」で ジャズ鑑賞 テーブルチャージ\$4.5～ ワンドリンク制(現地にて精算) アーティスト(予定) THE DUKE ELLINGTON ORCHESTRA (デューク・エリントン・オーケストラ)	
	22:30 予定		点呼のため必ず幹事まで連絡をしてください。 ※歓談予定	

日 付	時 間	場 所	行 動	備 考
5/26 (日) 5日目	各自	ホテル	各自で朝食	朝食 ホテル 6:30～
	8:30	ロビー集合	全体スケジュール調整・確認会	
	9:00		Aプラン ショッピング Bプラン 案内担当 5番街・ミッドタウン Cプラン その他 ※前半のスケジュール状況見て予 備としての意味合いも兼ねる	各自で昼食
	22:00	ホテル	点呼のため必ず幹事まで連絡をし てください。	各自で夕食

日 付	時 間	場 所	行 動	備 考
5/27 (月) 6日目	各自 09:00	ホテル ロビー集合	各自で朝食 各自自由行動 Aプラン ソーホー・ノリタエリア Bプラン その他 ※前半の状況見て予備としての意味合いも兼ねる	朝食 ホテル 6:30～ 各自で昼食
	17:10 17:20 18:30 19:00 22:30	ロビー集合 送迎バス着 乗船 出港 帰着	ドレスコードお願い致します 男性 ダークカラーのジャケット・シャツ・スラックス・革靴 女性 それに準じた服装でご参加下さい。 全員：ハットピン・コーディネートの中にブルーアイテムを入れて下さい (ジーンズ・スニーカー・Tシャツ・短パン・サンダルなどのカジュアルな軽装での参加は不可) 「バトーニューヨーク」 世界最高の夜景をワンランク上のクルーズ船で。 夜景を楽しみながらのディナークルーズ ※プレゼント交換会を企画 各自下記条件のもとプレゼントをご用意の上でご参加下さい ①マンハッタン滞在中に購入のこと ②ワンエピソード(選定理由等) ③予算¥3,000 程度 エンパイアーステートビル・ウォール街エリア摩天楼・バッテリーパーク・ブルックリン橋・マンハッタン橋・サウスストリートシーポート・自由の女神・エリス島 下船	全員で夕食 ※パスポートご持参下さい (アルコール年齢確認・乗船セキュリティのため) メニューP15参照
	23:00	ホテル		

日 付	時 間	場 所	行 動	備 考
5/28 (火) 7 日目	各自 8:50 (予定) 9:00 (予定) 10:00 14:10	ホテル	各自で朝食 ホテルチェックアウト ※ホテルのチェックアウトは各自済ませて ください アシスタントと合流 専用車にてジョン F ケネディ 国際空港へ ジョン F ケネディ 国際空港着 ニューヨーク出発 デルタ航空 0173 で 日本へ	朝食 ホテル 6:30～ 空港にて昼食 機内食
5/29 (水) 8 日目	16:55		成田空港着 成田空港到着後、通関の後解散	

ホテル概要

New York City-Midtown-57th St

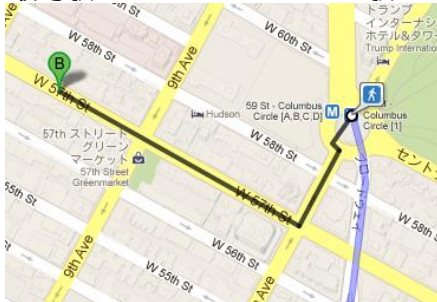
(ホリデイ・イン ニューヨーク シティ ミッドタウン 57 番街)



住所：440 West 57th Street, New York City, NY 10019 (Manhattan)

電話:1-212-5818100 Fax:1-212-5817739

◆最寄駅: 59ST columbs 駅



緊急連絡先 小柳 実 080-5985-4212

◆現地連絡先

JTB インターナショナル ニューヨーク支店

(JTB INTERNATIONAL NEW YORK OFFICE)

TEL : (212)307-0671 (1)800-900-5824(フリーダイヤル)

毎日 8:00~20:00

◆ツアーに関する緊急連絡先

あっとニューヨーク（日本語）

TEL : (212)489-9070 平日9:00~18:00

◆食事会

5/22 ウェルカムディナー 『イパネマ』



住所：13 W 46th Street New York, NY 10036 Cross Street: Hudson
Street

電話：(212) 730-5848

5/24 『EMPIRE STEAK』



住所：Address: 36 W 52nd Street New York, NY 10019
Cross Street: Between 5th and 6th Aves

電話：(212) 582-6900

研修旅行の目的

スタッフ各位

毎年、DAN総合設計として貴重な時間を割いて研修旅行を慣行している理由として、普段経験する事の出来ない文化、建築を直接体験し、その感動がDAN総合設計の共有財産となり、蓄積されスタッフ個々のレベルアップにも繋がり、仕事に反映、生かされることを第一に考えています。旅行後に書くレポートは、書くことで、自分自身が感じてきたものを確実にするだけでなく、感じたものを他の人たちに思いを伝える表現力を身に付ける場でもあります。

またこの研修期間は、大勢の人と行動を共にする期間でもあり、DAN総合設計のスタッフとして普段の生活同様、挨拶、目上の人に対する敬意、人への配慮、気づかい、行動、時間、服装等を意識しながら再認識する良い機会です。建築の設計にも当てはまるものだと思います。

長時間行動を共にする事で、会社組織としてコミュニケーションを図り、お互いの長所・短所が見えることもあり、見直しのきっかけとして考えたいものです。

この研修旅行を段取りする幹事さんは、普段の仕事の中で、段取りを行ない準備します。これはかなりの負担となります。幹事さん一人まかせでは無く、皆が気持ち良く旅行をするためには、個々が気の付いたことをサポートし幹事さんへの協力が、必要不可欠です。

毎年、旅行中での問題点を蓄積して行き、次回につなげ改善し、有意義な研修旅行が出来るように意識していきましょう。

5/23 半日観光ツアー内容 ①	
01 タイムズスクエア ニューヨーク繁華街の中心地であり、ショービジネスの最高峰、ブロードウェイミュージカルを観劇街でもあります。大晦日のカウントダウンでもよく知られ、世界の交差点とも呼ばれています。ニューヨークタイムズ社の社屋ビルがあったことが語源になっています。ニューヨークでも最も華やかな場所です。	
02 ミートパッキングエリア もともとは、肉の間屋街だったところですが、今ニューヨークで最もヒップな街となりました。芸術家やアーティストの多くがソーホーから移り住み、倉庫をロフトやアトリエに変えました。また、ファッションブランドや新進ブティックも数多く軒をならべ、流行の最先端となり、ジェネレーションXの五番街とも呼ばれています。	
03 グリニッジビレッジ アメリカ最大の芸術家村です。古くからオーヘンリーや、マーク・トゥエインといった文豪や、アンディー・ウォーホル、リキテンシュタインといったアーティストが愛してきた街です。音楽でも有名なジャズクラブが多くあります。今なお芸術家の多くがこの街に住むのは、リベラルな伝統が残っているからでしょう。ゲイやレズといった同性愛者の多くもこの街に住んでいます。	
04 ソーホー ナイン・ハーフや、ゴーストという映画がこの街の全てを物語っています。多くの画家が生活し、ギャラリーやアトリエが多く見られます。しかしながら、近年ではアートのビジネス化が進み、ソーホーの家賃は高騰しました。芸術家の卵が住める街ではなくなってきております。ソーホーは19世紀後半、工場や倉庫街だったところで、鉄で作られた建造物のほとんどが残されています。	
05 リトルイタリー 中華街 移民の街ニューヨーク。人種のるつぼと称されるだけあり、ここでは、アメリカであることを忘れてしまうほど。ニューヨークでも最も歴史ある一角で、古くはドイツ移民やアイルランド移民がまずはじめに住んできたエリアです。イタリアのパスタ屋さん、カフェがたくさんありますよ。近年では、イタリア人街を押し上げるほど中国からの移民が増加中です。	
06 グラウンドゼロ 2001年9月11日、同時多発テロで倒れたワールドトレードセンターがあった場所です。ツインタワーは、日系人山崎氏による設計でした。思い出すと悲しい事件ですが、ニューヨークををはじめとして人類は、困難を乗り越え、また新しい巨大ビルを建設中です。ここでは、あらゆることを忘れ、平和を祈ってあげてください。	
07 ウォール街 ここは、もともと住んでいた、オランダ人居住地と、インディアンが住んでいたマンハッタン北部を境界する防壁ラインでした。防壁の壁というのがウォール街の語源です。単なる木の壁だったそうですが、...。それが、時を経て、アメリカ最初の国会議事堂が置かれ、後には世界金融の中心地になろうとは、誰も考えなかったことでしょう。ニューヨーク証券取引所や、連邦ホールをご覧ください。	

5/23 半日観光ツアー内容 ②	
08 バッテリーパーク マンハッタン最南端の公園です。たくさんの大道芸人が集まっています。ここから、自由の女神の島へ行くフェリーが出ております。また、スタッテン島へのフェリーも隣から出発します。もとは、独立戦争時にイギリス海軍を迎え撃つための大砲がならべられていたクリントン要塞でして、砲台という語源からバッテリーと呼ばれています。	
09 自由の女神（フェリー船上から観覧） スタッテン島フェリーに乗りましたら、まずは船尾に集結。マンハッタンを離れるにつれ、ウォール街の摩天楼群が目の前に浮かび上がってきます。どうですか。水の中に浮かぶ摩天楼、絶景でしょう。少し離れると、今度は右手に自由の女神が。映画タイタニックでジャックがニューヨークに辿り着くことを夢みますが、まさにこの光景。通り過ぎる前に、女神が目の前に来た瞬間シャッターチャンス。	
10 スタッテン島フェリー 自由の女神を過ぎたら、ニューヨーク湾の潮風をクルーズ気分でお楽しみください。アメリカ最大の貿易港で右にアメリカ大陸が見えてきます。ニュージャージー州といいます。アメリカ最長 4 キロの巨大なベラザノ橋のかなたはもう大西洋。あっという間に、イタリア人の多く住むスタッテン島到着。この島には、ヤンキースのマイナーチームもあります。フェリーでそのまま往復します。	
11 ブルックリンブリッジ 芸術ともいえる壮麗なブルックリン橋を渡って、ブルックリンの対岸から絵葉書のようなマンハッタンの景観をご覧ください（夜景も綺麗です）。ブルックリン橋も一緒に写真に入れてもらうのがポイントです。蒸気機関車を発明したフルトンも、この橋ができるまで、フルトンフェリーを渡し舟として出していた場所です。	
12 サウスストリートシーポート ウォール街の東の突き当たりにあるピア（栈橋）です。現在ではおしゃれなショッピングエンターテインメントのコンプレックスになっています。もともとは、船の修理工場や、魚市場、奴隷市場があったところです。	
13 国連本部 戦後、国際連盟の本部は、ロックフェラージュニアがこの地を購入し寄付することで、ニューヨークに置かれることに決まりました。国連総会、社会保障理事会など主要機関が入っています。ちょっと離れたら 40 階立てのビルがちゃんと写真に納まります。また、すぐ目の前にはトランプの 90 階建てアパート。ヤンキースのジター遊撃手がトップフロアに住んでいるとかいないとか。	
14 五番街ティファニー付近ティファニーなどが並び、五番街付近の高級ショッピング街で解散となります。だいたい 5 番街と 57 丁目あたりになります（地図）。徒歩 10 分ほどの近辺には、セントラルパーク、近代美術館、セント・パトリック寺院、ロックフェラーセンターなどがあります。大変お疲れ様でした！	

[illegible][illegible]

■ 26日：バトーニューヨーク

フルコースディナー内容（一例）

前菜 ※ 1 つ選択	■高級ロブスタースープ ■田舎風パテ ■モッツレラチーズのマリネ野菜とオリーブ添え ■マグロのあぶり、コリアンダーとシナモンを乗せて
インターメソ	■柑橘系ドレッシングのミックスグリーンサラダ
メイン ※ 1 つ選択	■牛肉のショートリブ ■サーモンのワイルドオープン焼き ■シェフ特製 季節のパスタ ■トスカーナ地鶏ムネ肉のグリル ■ラム肉のステーキ ■地中海野菜のサラダとイスラエルのクスクス ※それぞれにポテトや野菜が付きます
デザート ※ 1 つ選択	■チョコレートタルト ■ニューヨークチーズケーキ ■シャーベットとベリーの盛り合わせ ■本日のデザート コーヒー又は紅茶と一緒にどうぞ



ニューヨーク Newyork

ニューヨークの始まりは、オランダ人がマンハッタンの南端に入植した事に始まります。世界の舞台がヨーロッパからアメリカに移行し、文化の中心として栄えてきた都市であり、1811年にニューヨーク計画が施行され、全マンハッタンにグリッドパターンの都市計画を基盤に現在に至っています。摩天楼という言葉に代表される高層ビルに始まり、美術館・博物館・セントラルパーク・著名建築家の作品等またその都市計画に至るまで近代世界の中心として発展してきた歴史、さらに芸術や経済などの中心を視察することにより見聞を広め、事務所の発展へつなげていく。

■自由の女神（リバティ島）Statue of Liberty（Liberty Island）



自由の女神像は[アメリカ合衆国の独立](#) 100 周年を記念して、独立運動を支援した[フランス](#)人の募金によって贈呈され、[1886 年](#)に完成した。[アメリカ合衆国](#)の自由と民主主義の象徴であるとともに、19 世紀以来絶えることなく世界各地からやってくる移民にとって新天地の象徴ともなっている。[1984 年](#)には[ユネスコ](#)の[世界遺産](#)（[文化遺産](#)）に登録された。

本来のモデルはフランスの象徴[マリアンヌ](#)で、[性別](#)は[女性](#)である。しかし、像自体の性別ははっきりとわかっているわけではない。銅製だが、[緑青](#)の為に緑色になっている。像の頭の部分までの高さは 33.86 メートル（111.1 フィート）、台座からトーチ（たいまつ）までの高さは 46.05 メートル（151.1 フィート）、台座の高さは 47 メートル（153 フィート）、台座部分も含めると 93 メートル（305.1 フィート）、総重量は 225 トンである。

右手には純金で形作られた炎を擁する[たいまつ](#)を空高く掲げ、左手にはアメリカ合衆国の[独立記念日](#)である「[1776 年 7 月 4 日](#)」と[ローマ数字](#)で刻印されている[銘板](#)を持っている。足元には引きちぎられた[鎖](#)と足かせがあり、これを女神が踏みつけている。全ての弾圧、抑圧からの解放と、人類は皆自由で平等であることを象徴している。女神がかぶっている[冠](#)には 7 つの突起がある。これは、[7 つの大陸](#)と 7 つの海に自由が広がるという意味である。

台座部分には[エレベータ](#)が設置されている。エレベータの最上階（10 階）からは像の中のらせん階段を上って王冠部分の展望台に登ることができる。[2001 年 9 月 11 日](#)に発生した[アメリカ同時多発テロ事件](#)後は安全のため、同展望台は閉鎖されていたが、[2009 年 7 月 4 日](#)、独立記念日に合わせて約 8 年ぶりに再開された。再開後は、同展望台に入場できる人数が 1 時間あたり 30 人まで、1 日 240 人までと制限されたほか、入場には予約が必要となった。台座部分の内部はアメリカの移民の歴史について展示する博物館になっており、[エマ・ラザラス](#) (Emma Lazarus) が書いた「新しい巨像 ([The New Colossus](#))」という題の [14 行詩](#)を浮き彫りにしたブロンズ製銘板が設置されている。たいまつは灯台とするためのものであったが、雲に反射して船舶運航の妨げになるということで中止された。また女神像は元々灯台であったため[ニューヨーク港](#)を向いている。

■エンパイア・ステート・ビル

The Empire State Building



建築家集団、[リッチモンド・H・シュリーブ](#)（英語版）、[ウィリアム・F・ラム](#)（英語版）、[アーサー・L・ハーモン](#)（英語版）（[Shreve, Lamb and Harmon](#)）の3名によって設計されたエンパイア・ステート・ビルディングは、[マンハッタン島](#)を代表する高級[ホテル](#)である[ウォルドルフ＝アストリア](#)が建っていた跡地に建設された。低層部や最頂部には、当時世界的に流行した[アール・デコ](#)様式が採用されている。

工事は[クライスラービル](#)から「世界一の高さのビル」の称号を奪うために急ピッチで行われ、[1931年](#)に竣工したが、[世界恐慌](#)の影響でオフィス部分は [1940年代](#)まで多くが空室のままであった。そのため、「エンフティー（空っぽの）・ステート・ビルディング（“[Empty State Building](#)”）」と[揶揄](#)（やゆ）されることもあったが、戦後は多くの人々が訪れる観光名所となり、[1972年](#)に[ワールドトレードセンター](#)のノースタワーが竣工するまでの42年間、世界一の高さを誇るビルとなっていた。完成して55年が経った [1986年](#)には、[アメリカ合衆国国定歴史建造物](#)に指定されるなど、ニューヨークのシンボルの一つとして認知されていた。

[2001年9月11日](#)の[アメリカ同時多発テロ事件](#)によってワールドトレードセンターが破壊されてしまった際には、ノースタワーを[電波塔](#)にしていた各局が放送不能となるが[\[1\]](#)、[WCBS-TV](#)はエンパイア・ステート・ビルの電波塔を活用し、放送を続けた。テロ後、WCBS-TV は被害を受けた各局に電波送信スペースの貸し出しを行った後、[2005年](#)より地上波テレビ各局の電波塔がこのビルに集約されることになった。

[2010年](#)現在、ワールドトレードセンターの崩壊という痛ましい理由からではあるが、再び「ニューヨークで最も高いビル」となっている。新たに建設中の [1 ワールドトレードセンター](#)が完成する予定の [2013年](#)までは、この状態が続くことになる。

[2012年4月30日](#)、建設中の [1 ワールドトレードセンター](#)のフロアの高さがエンパイアステートビルフロアの高さを上回った。アンテナを含めた最長部は、いまだエンパイアステートビルの方が高い状態である[\[2\]](#)。

■ロックフェラーセンター

Rockefeller Center



ロックフェラー・センター（Rockefeller Center）は、[アメリカ合衆国ニューヨーク州ニューヨーク市マンハッタン](#)の[五番街](#)にある[超高層ビル](#)を含む複数のビルからなる複合施設。設計は[レイモンド・フッド](#)ほかによる。

マンハッタンの中心部ともいえる48番街と51番街の22エーカーの土地に、19の商業ビルが四方に建ち、各ビルの低層階はひとつの建物として繋がっている。一番大きい[GEビルディング](#)は、高さ259m、70階建てである。

中心にある半地下のプラザには、万国の[国旗](#)と[プロメテウス](#)の黄金像が立ち、夏にはカフェテラス、冬には[アイススケートリンク](#)として使用される。特に12月になると特大の[クリスマスツリー](#)が飾られることで有名。また、2003年秋には[村上隆](#)の作品「REVERSED DOUBLE HELIX」が展示された。

■タイムズスクエア

Times Square



タイムズ・スクエア（Times Square）は、[アメリカ合衆国ニューヨーク市マンハッタン](#)の[ミッドタウン](#)にある[繁華街・交差点](#)の名称。[マンハッタン島](#)の42丁目と7番街、[ブロードウェイ](#)の交差を中心に位置し、東西は6番街から9番街まで、南北は39丁目あたりから52丁目あたりに広がるが、厳密な境界はない。いわゆる[ブロードウェイ・ミュージカル](#)が上演されている各シアターが所在する[シアター・ディストリクト](#)の中心とほぼ一致する。

タイムズスクエアには建物外壁へのビルボードの設置が多く、世界中の企業の[広告](#)や巨大ディスプレイ、[ネオンサイン](#)や電工看板が多くあり、アメリカのみならず世界の繁華街の代表的風景ともいえる。下積み時代の[マドンナ](#)が、この地にて「私はこの世界で神よりも有名になる」と誓ったエピソードは有名。UK ポップ・グループ、[スパイス・ガールズ](#)の大ヒット曲「[2 Become 1](#)」の[プロモーション・ビデオ](#)の撮影地でもある。世界中からの観光客が集まる場所でもあり、ここの交差点は世界の交差点と言われる。

以前の名称は[ロングエーカー・スクエア](#) ([en](#)) であり、[ニューヨーク・タイムズ](#)の本社が現在の[ワシントン・タイムズスクエア](#)（大晦日に[ポールドロップ](#)のイベントが行われる場所[\[1\]](#)）に移転してきたことから、1904年4月に現在の名称であるタイムズ・スクエアに改称された。

■国連本部

The United Nations Headquarters



総会議場の建物は、敷地のほぼ中央に位置し、縦 380 フィート（約 116 メートル）、横 160 フィート（約 49 メートル）で、側面が凹面状になっている。屋根には内部に明かりを取り入れる浅い円形ドームがある。議場ホールは奥行き 165 フィート（約 50 メートル）、幅 115 フィート（約 35 メートル）、天井までの高さ 75 フィート（約 23 メートル）で、2 階から 4 階にかけてを占めている。議場には 1321 席が設けられ、各加盟国に 6 席ずつ（代表者 3 名及びその後ろに補助者 3 名）与えて、192 の全加盟国の代表団を収容できる。3 階には、代表団補助者、専門機関の代表者、その他の上級職員のために 244 席が用意され、その上のバルコニーには記者席 53 席と一般傍聴席 280 席が設けられている。以上の 1898 席全てにイヤフォンがあり、議場での発言またはその同時通訳（アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語の 6 公用語）を聞くことができる。通訳人はホールを見下ろすガラスのブースに座っている。演壇の後方には、各国の投票結果を示す巨大なパネルが置かれており、各国代表団は座席の緑、赤、黄色のボタンを押すことによって賛成、反対、棄権の投票をすることができる。ここで初めて国連総会が開かれたのは、1952 年 10 月 14 日からの第 7 回通常会期であった。下の二つの階には、代表団用 623 席、プレス用 44 席、一般傍聴者用 166 席を有する会議場がある。また、一般来客が利用できる公共スペースには、国連ブックショップ、国連切手の販売カウンター、ギフトセンター、土産物店、コーヒーショップなどが入っている。

■セントラルパーク

Central Park



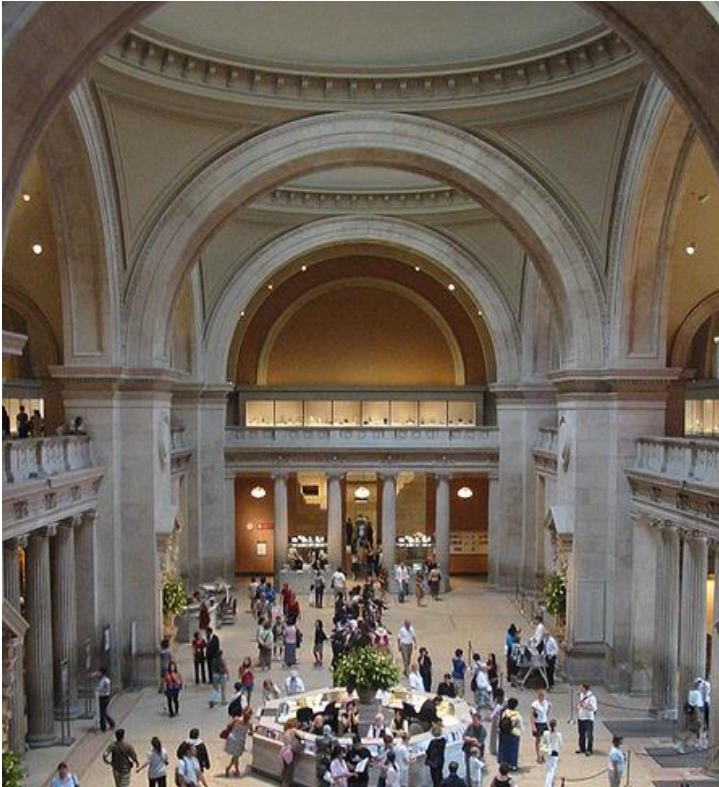
この公園は[フレデリック・ロー・オルムステッド](#)とカルヴァート・ヴォークス(Calvert Vaux)によって設計された。公園内はまるで自然の中のように錯覚する風景だが、高度に計算された人工的なものである。公園内にはいくつかの湖、2つのアイススケートリンク、各種スポーツ用の芝生のエリア、自然保護区、そしてそれらを結ぶ[遊歩道](#)などがある。道路は景観を崩さないために人工的に窪地に造られている。これは[ダイナマイト](#)で岩盤を破壊して造ったものである。

公園内は自動車での通行が禁止されており、週末は公園を囲む 9.7km の道は[ジョギング](#)をする人々、[サイクリング](#)や[インラインスケート](#)を楽しむ人々などで賑わう。また、ここは[ニューヨークシティマラソン](#)のゴール地点にもなっている。[渡り鳥](#)たちのオアシスにもなっており、[バードウォッチング](#)も盛んに行われている。夏には園内のデラコート劇場で有名な映画スターによるステージが行われる。

[マンハッタン](#)島の都会的景色・喧噪の中のアオアシスとしての働きを果たしており、公園に面してその景色が視野に入るアパートメント・コンドミニアムは、近隣の中でも高く評価される物件となっている。

■メトロポリタン美術館

The Metropolitan Museum of Art



世界 4 大ミュージアムのひとつであり、コレクション数は 200 万点にも及ぶ。

メトロポリタン美術館の設立構想は、[1866 年](#)、[パリ](#)で [7 月 4 日](#)の[アメリカ独立記念日](#)を祝うために集まった[アメリカ人](#)たちの会合の席で提案された。

この会合の参加者のひとりだった[ジョン・ジョンストン](#)は、アメリカに国際的規模の美術館が存在しないことを憂い、メトロポリタン美術館の設立構想を訴えたが、この時点では美術館の建物はおろか、1 点の絵画さえ所有していなかった。美術館は 4 年後の [1870 年](#)に開館。基金による購入や、さまざまなコレクターからの寄贈によって収蔵品数は激増し、現在では絵画・彫刻・写真・工芸品ほか家具・楽器・装飾品など 300 万点の美術品を所蔵。全館を一日で巡るのは難しいほどの規模を誇る、世界最大級の美術館のひとつとなっている。

■アメリカ自然史博物館

American Museum of Natural History



アメリカ自然史博物館（アメリカじぜんしはくぶつかん The American Museum of Natural History）は、[ニューヨーク市マンハッタン区](#)内[アッパー・ウエストサイド \(Upper West Side\)](#) にある[科学博物館](#)。動植物、鉱物など[自然科学](#)・[博物学](#)に関わる多数の標本・資料を所蔵・公開している。「アメリカ自然誌博物館」とも表記される。[1869年](#)に設立され、現在、1,200名を超えるスタッフを擁し、毎年100を超える特別野外探査を主催している。化石や生物など自然界はもちろん、さまざまな環境で発展した人間の文化や歴史といった人類学の範囲まで、地球全体の進化を包括。地球・宇宙ローズセンターが人気。館内ツアーあり。

■グッゲンハイム美術館

Solomon R. Guggenheim Museum



グッゲンハイム美術館 (Guggenheim Museum) は、[ソロモン・R・グッゲンハイム財団](#)が運営する美術館。1937 年 ニューヨーク市に[ソロモン・R・グッゲンハイム美術館](#)設置、以降世界各地に展開。世界有数の現代美術の宝庫。白いカタツムリ姿の外観が異彩を放つ。常設展示スペースは少なく、反対に渦巻き状のスペースをフルに活用した特別展に力を注いでいる。

■ホイトニー美術館

Whitney Museum of American Art



ホイトニー美術館 (Whitney Museum of American Art) は[ガートルード・ヴァンダービルト・ホイトニー](#)によって [1931 年](#)に設立された[アメリカ合衆国・ニューヨーク](#)にある芸術ギャラリー及び美術館である。1966 年に[マルセル・ブロイヤー](#)の設計による現在の建物に移転した。アメリカ合衆国の[近代・現代美術](#)作品の充実で知られ、特に[エドワード・ホッパー](#)を多数収蔵している。

20 世紀のアメリカ人芸術家の作品を豊富に所蔵。美術館では 2 年に一度、春、ピエンナーレ展を開催するが、これが若手アーティストの登竜門といっても過言ではない。

■フリック・コレクション

The Frick Collection



The Living Hall, The Frick Collection, New York

Photo : Michael Bodycomb

フリック・コレクション(Frick Collection)は[ニューヨーク](#)にある美術館である。実業家の[ヘンリー・フリック](#)の個人的なコレクションを、彼の邸宅だった館で展示している。小規模だが[ヨハネス・フェルメール](#)の作品を3つ所蔵するなど非常に充実した美術館で、絵画だけでなく彫刻・家具・陶磁器なども所蔵している。鉄鋼王フリック氏の元大邸宅。コレクションは、絵画だけでなく、彫刻、装飾美術、家具調度の収集にも力が注がれ、優雅な美術鑑賞が楽しめる。

■ニューヨーク近代美術館（モマ）

The Museum of Modern Art（MoMA）



ニューヨーク近代美術館（The Museum of Modern Art, New York）は、[アメリカ合衆国ニューヨーク市](#)にある、近現代美術専門の[美術館](#)である。

[マンハッタン](#)のミッドタウン 53 丁目に位置し、[1920 年代](#)から「ザ・モダン」と呼ばれた[モダンアート](#)の殿堂。

英文館名の頭文字をとって「MoMA（モマ）」と呼ばれて親しまれるニューヨーク近代美術館は、[20 世紀](#)以降の[現代美術](#)の発展と普及に多大な貢献をしてきた。

また分館として、[2002 年](#)から [2004 年](#)にかけてマンハッタンの本館が工事中のときに利用されていた施設をそのまま利用したクイーンズ分館（MoMA QNS）と、より現代的・実験的な作品を展示する美術館である [P.S.1](#) がある。

■ニューヨーク市立図書館

New York Public Library



ニューヨーク公共図書館（ニューヨークこうきょうとしょかん、New York Public Library、略称：NYPL）は、[ニューヨーク市](#)に所在する[公共図書館](#)である。[米国](#)を代表する図書館の1つで、私立の図書館としては世界屈指の規模を有する。

3つの中央図書館に加え、ニューヨーク市内各所に大小合わせて80以上のブランチ・ライブラリー（地域分館）と、研究目的のために公開されている4つのリサーチ・ライブラリー（研究図書館、日本でいう[専門図書館](#)にあたる）を有する。また、[インターネット](#)を積極的に活用した情報発信や数多くの教育プログラムを開催しており、ニューヨークにおける総合的な教育・研究機関として機能している。[グーテンベルク聖書](#)や[カポーティ](#)の草稿を始め、歴史的にも貴重な蔵書を多数所蔵している。

名称には“public”という語が含まれているが、設置主体はニューヨーク市ではなく、独立の[法人](#)であり、財政的基盤は民間からの寄付によって成り立っている。ニューヨーク公共図書館の館名の場合のパブリックは「公立」（地方公共団体が設立した）という意味ではなく、「[公共](#)」（一般公衆に対して開かれた）という意味に当たる。公共図書館であるため利用は原則として無料で、ニューヨーク市に在住あるいは勤務している者であれば誰でも会員になることができる。

本館は[五番街](#)の42丁目にあり、その豪華な建築で観光名所としても知られている。トレードマークはライオンのLeo。

■ハイライン

High Line



ハイライン（High Line）は、[ニューヨーク市](#)にある長さ 1 マイル（1.6 km）[\[1\]](#)の公園である。[ウエストサイド線](#)の支線で、[マンハッタン](#)のロワー・ウエストサイドで運行されていた 1.45 マイル（2.33 km）[\[2\]](#)の高架貨物線跡を、空中緑道として再利用したものである。公園は 12 丁目からひとつ南のブロックで、[ミートパッキング](#)地区にあるガンズヴォート・ストリートから 30 丁目へ進み、[チェルシー](#)地区を通して[ジャヴィッツ・コンベンション・センター](#)の近くにある[ウエストサイド・ヤード](#)に至る。ハイラインが都市公園に再生されたことで、付近の不動産開発が活発になった

■メットライフ・ビル&グランドセントラル・ターミナル

Met-Life Building & Grand Central Terminal



かつてのパンナム・ビル。パンナムが倒産後、メットライフ・ビルに名称変更した。1960年代の代表的建築物で、そのため現在も内装にはいっさい手が加えられていない。摩天楼のシンボリック高層建築のひとつとして、グランドセントラル・ターミナルのうしろに建つ。グランド・セントラル・ターミナルはニューヨークを代表する駅舎。ショップやレストランも多く、観光ポイントとしてもにぎわう。

NEW MUSEUM	ヤンキースタジアム	ブルックリン橋
		
グラウンド・ゼロ	シーグラムビル	Chrysler Building
		
TWAFLIGHT CENTER		
		